

市民の地域事業への思い・期待を忘れないで！

9月議会・総括質疑で訴え

9月定例会市議会が2日からはじまりました。初日は市長による提案理由の説明、総括質疑などが行われました。2日目も総括質疑、そしていまは常任委員会審査が行われています。

私は2日目の総括質疑で登壇、1時間20分にわたって市長や教育長の見解を求めました。

とりあげた議案のひとつは、昨年度の一般会計決算認定です。市長は昨年度は「将来の発展の礎を築く極めて重要な時期」と位置付けていました。第5次総合計画の改定、自治基本条例制定などにふれ、「合併後におけるこれからのまちづくりの在り方を具体的に方向付けることができた」と評価しています。私は、「結果として（総体的には）はそう評価してよいと思うが、総合計画改定ひとつとっても複雑な経過をえている。市が急ぎ過ぎたから全会一致にならなかった。ひとつひとつ、しっかりと総括すべきだ」とのべました。



市長と繰り返しやりとりすることになったのは地域事業費についてでした。地域事業費は13区住民にとつては「合併にあつたつての公約」ともいふべき重要なものです。昨年度、市は、合併後の財政悪化を理由にこの地域事業費の2割削減方針を明らかにし、市民、とくに編入合併された13区住民にショックを与えました。ところが、市長提案ではこの点にまつたふれませんでした。私は、「数字的には（昨年度までの計画は）着実に実施できたといえるかもしれないが、昨年大きな問題になった削減方針にふれないのはおかしい」と批判しました。

学校給食民間委託は再考すべき

昨年度、市教委が取り組んだ学校給食調理部門の民間委託問題についても、昨年度大きな問題となつていながら、決算認定の提案理由でふれられませんでした。教育長は私の質疑に答えて、「安全・安心でおいしい学校給食が提供されている」と評価している。委託業務の形態については、新潟労働局から指導をいただいたことから、真摯に受け止め速やかに改善を図り、適正な業務委託となるよう取組を進めてきた。今年度も引き続き、適正に取組を進めておるところだ」とのべました。

答弁はあっさりとしたものでしたが、経過を振り返ると、労働局の指導を受けて、最初の段階からの民間委託は無理であることが判明しています。そして今年度から民間委託化を計画していた学校ではまず、民間からの派遣労働を活用した直営方式を採用せざるを得なくなりまして、なぜ、こうなったのか踏み込んだ分析をして、民間委託を再考してほしいと思います。

総括質疑でとりあげた2つ目の議案は、今年度の一般会計補正予算です。このなかに「歴史文化基本構想策定」経費が計上されており、吉川区雲門寺の指定文化財などについても紹介しながら、事業の身を問いました。

教育長の答弁によると、新たに文化財の総合的な調査を行うほか、関連する複数の文化財を総合的に捉えることにより新たな価値を見出す計画づくりなどをしていくそうです。どんな構想ができあがるのか楽しみです。

除雪車購入で不自然な入札結果

とりあげた3つ目の議案はロータリー除雪車の取得についてです。7月2日に、3台分の入札が1台ごとに行われたのですが、入札に参加した5社のうち1社がすべて1位となり落札しました。しかも3台の入札額の順番は全部同じという結果になりました。それぞれ別の入札とはいえ、「一位不動の一種、不自然だ」と追及しましたが、市側は、落札率が70数%の水準で低いことなどを理由に「入札は適正で競争性があつた」として譲りませんでした。委員会審査の行方に注目したいと思います。



【私の活動スナップ】旧川谷小学校体育館で30日、地区総出の運動会が行われた後、法政大学の「ゆい祭り」が開催されました。飲んで歌っておしゃべりする、とても楽しい交流会でした。私が着ている「アイラブ吉川」のTシャツは法政大学米米（コメコメ）クラブの作品です。Tシャツは1枚2500円です。購入希望者はお知らせください。